

施策評価シート(平成28年度評価実施)	担当部課名	都市開発部 都市計画課	関連部課名	産業環境部観光商工課 産業環境部農林水産課
基本目標	美しい自然を未来につなぐまちづくり【環境・生活基盤】			
施策名	自然保護・緑化			
市民や観光客が癒しとるおいを感じられるような環境づくりにむけて、海や山など豊かな自然生態系の保全や公共施設における緑化を推進するとともに、市民参加による身近な緑づくりなどを進めて自然保護や緑化に対する市民の意識高揚を図ります。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿 ●海や山など豊かな自然の保護と都市緑化の推進によって、市民や観光客が癒しとるおいを感じています。				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 自然環境の保全

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
自然公園内行為許可申請数	57件	60件	50件
伐採および伐採後の造林届出書	13件	5件	10件
森林の土地所有者届出書	24件	15件	10件

2 緑化の推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
民有地の緑化推進 (蒲郡市緑化事業助成金)	145 m ²	0 m ²	600 m ²
公共公益施設の緑化推進 (県民参加緑づくり事業)	-	694千円	1,000千円
緑化木配布事業	500本	500本	480本

3 市民参加による緑づくり

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
公共施設アダプトプログラム	16団体	19団体	22団体
県民参加緑づくり事業	-	110人	100人
まちづくり事業助成金(緑づくり関係)	2団体	1団体	1団体

◆評価指標

指標名	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	将来目標
緑化面積	目標値	600㎡	600㎡	600㎡	
	実績値	145㎡	0㎡		
植樹祭等の参加人数	目標値	0人	100人	100人	
	実績値	0人	110人		
緑づくりに関する市民団体数	目標値				
	実績値	8団体	8団体		

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
緑化面積	公共公益施設の緑化面積と民有地の緑化面積の合計
植樹祭等の参加人数	緑づくりに関する植樹祭等に参加した市民の数
緑づくりに関する市民団体数	緑づくりや環境保全に関する活動をしている市民団体数

◆指標の分析

・緑化面積は、平成21年度から始まった「あいち森と緑づくり事業」による民有地緑化は、経済状況の影響を受けやすく、平成27年度の申請は0件でした。
 ・植樹祭等の参加人数は、都市緑化あいちフェアのサテライト会場事業において、市民ボランティアの協力により花苗による会場づくりが行われました。
 ・緑づくりに関する市民団体(8団体)の自主的な活動により、里山や川などの自然環境の保全や整備が進んでいる。

◆今後の方針

施策の課題

- ・民有地緑化による面積を増やすために、交付条件を緩和したり、申請手続きの簡素化を検討する必要がある。
- ・保育園園庭芝生化事業に続く公共公益施設の緑化事業を検討する必要がある。
- ・自然公園内での開発に許可が必要であることの認知度が低い。

今後の施策展開

- ・海や山などの豊かな自然を保護するために、市民参加による自然環境の保全や整備を充実させていきたい。
- ・あいち森と緑づくり事業を活用して、公共公益施設の緑化及び屋上緑化・壁面緑化等の民有地緑化を推進していく。
- ・県民参加緑づくり事業を活用し、市民花いっぱい運動のイベントを開催する。それにより、都市緑化の啓発を図る。
- ・自然公園法による開発許可権者の愛知県と共に自然公園法の啓発に努めていく。
- ・放置林対策の一環として、森林所有者への維持管理に関する助言を行っていく。

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	自然保護や緑化を推進するには行政だけでなく市民の協力が不可欠である。協力を得るには市民の考えを知る必要があるのでアンケート等で市民の意見を聞き、緑づくりの活動に反映させ更なる協働が必要である。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	市民意識の啓発には地道な緑化活動の継続と活動のPRが大切。あいち森と緑づくり事業も民間の活用し易い制度となるように県への要望も必要。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (参考) (千円)	人工	総合評価	事業の種別	市長 マニフェスト	実施 計画
4-2	都市計画課	365	緑化推進事業	2,100	9,283	1.90	B	オ	—	○